

第6期 pES club シナリオ 4

平成19年4月22日
東京北社会保険病院 総合診療科
南郷 栄秀
<http://spell.umin.jp>

あなたは海老伝巢医科大学附属病院内科の3年目後期研修医です。

桐瀉魁さん（69歳男性）は3年前の心筋梗塞をきっかけに、当院の内科外来に月1回通院している8年来の糖尿病患者です。あなたは桐瀉さんの担当を先輩医師から引き継いで半年になりますが、今日の採血でHbA1c（基準値5.8%以下）が7.5%と高くなっていることに気付きました。

すでに経口血糖降下剤として、メドット（250mg）3錠分3、アマリール（1mg）2錠分1の2剤を服用していますが、血糖コントロールが不十分なので、あなたは次の治療をどうすべきか先輩医師に相談してみました。

あなた 「先輩、桐瀉さんなんですけど、今日の採血でHbA1cが7.5でした」

先輩 「あれ、悪くなっちゃったな」

あなた 「いえいえ先輩、3ヶ月くらい前からずっとこんな感じですよ」

先輩 「オレが受け持ちの時には、そんなに悪くなかったぞ」

あなた 「そんなあ、それじゃまるでボクが悪いみたいじゃないですか」

先輩 「まあ、糖尿って病気は同じように治療していても段々悪くなるものだからな、そろそろ限界だったんだろ。おまえのせいじゃないよ」

あなた 「そうですね。彼は真面目だから、食事もきちっと制限できているし、毎日30分のウォーキングも欠かさずやっているですよ」

先輩 「でも、ダメなものはダメだろ。さっさと薬を増やすしかないよ」

あなた 「先輩、次は何を出せばいいですか？」

先輩 「アクトスっていう薬知ってるか？」

あなた 「いや、初めて聞きました」

先輩 「インスリン抵抗性改善薬ってやつだ。確か桐瀉さんは太っていたよな。そういう人に効くんだ」

あなた 「そうなんですよ。162cmしかないのに、84kgもあるんですよ。その割に血圧は110/70mmHg位で低いんですから不思議ですよ」

先輩 「とにかく、使ってみろ。この薬はすごいんだぞ。何ていったって長期予後のエビデンスがある。他の糖尿病の飲み薬は飲んだって予後は延長しないが、この薬は二次予防には効くんだ」

あなた 「それはすごいですね！わかりました使ってみます！」

そうは言ったものの、どのくらいすごい薬なのか、気になったあなたは調べてみることにしました。

第6期 pES club シナリオ 4 (追加シナリオ)

平成19年4月22日

東京北社会保険病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

桐瀉さんの昨日の夕食は、かんぱちの刺身、揚げだし豆腐とほうれん草のおひたし、タケノコとワカメの味噌汁、そしてご飯でした。この1年で、体重は3kgくらい増えているようです。

血糖のコントロールは、半年ほど前までは HbA1c 6.5~7.0%程度でしたが、3ヶ月前から7.0%を越えるようになりました。最新の採血では、FPG 154mg/dL, HbA1c 7.5%, IRI 16 でした。随時血糖は測定していません。また、自宅では血糖の測定は行っていません。糖尿病性細小血管障害(網膜症, 腎症, 神経障害)は認められていません。

桐瀉さんの内服薬はメデット (250mg) 3錠分3, アマリール (1mg) 2錠分1, ロンゲス (10mg) 1錠分1, メインテート (5mg) 1錠分1, バイアスピリン (100mg) 1錠分1, リピトール (5mg) 1錠分1です。桐瀉さんは、予約の外来には毎回時間通りに来ていますし、出された薬も飲み忘れることはないようです。

喫煙歴は、18歳~1日1箱です。止めなければならないことは知っていますが、なかなか禁煙できないようです。

桐瀉さんの母と姉は糖尿病と高血圧です。それ以外の家族は健康です。